



## 樋口 敏昭 議員 … 2 件の一般質問

### ほ 大和原種圃場修繕工事助成のあり方は

町長：補助金交付要綱に基づき予算措置している



昨年の大和原種圃場の現状

**樋口**

大和の種子馬鈴薯原種圃場が、昨年の雪解け水で崩落の被害が拡大し、崩落箇所の復旧工事が急がれます。新年度予算では、復旧工事助成について「調査費用も含め、国庫補助金の残額の3分の1を助成する予算を計上」とあるが、入植した先人達がこ

**町長**

大和原種圃場の運営にあたり、平成14年に俱知安町の馬鈴薯の地で、馬鈴薯生産を通じて大きく町の発展に貢献してきた歴史を振り返ると、基幹作物を守っていくための復旧工事助成額は、満額助成とすべきではないか。

**樋口**

災害時の避難所となっている北地域会館・南地域会館の耐震補強工事中の利用制限と避難所の変更の有無は。老朽化した会館の補強工事に予算付けせず、建て替えたほうがいいのでは。

**町長**

実施設計後の本工事中、6月下旬頃から9月頃までの間で利用できなくなる予定。避難所は、近隣の避難所を利用するよう考えている。会館の建て替えについては、町の財政状況では困難なため、考えていない。

### 避難所の耐震補強 工事中の利用制限

原種確保対策事業補助金交付要綱を定め、「運営・管理に要する経費の赤字分について3分の1以内を補助とする」として助成してきたもので、今回も要綱に基づき予算措置している。



南 地 域 会 館



北 地 域 会 館

学校給食センター



## 竹内 隆 議員 … 5 件の一般質問

### 原発防災計画の策定はいつになる

町長：4 月に防災会議を開催し策定する

竹内 ① 2  
月 21

日の北海道新聞の原発の新安全基準と再稼働までの流れという図によると、地元自治体の合意という項目があるが、どういうことか。

②原発防災計画については、3月18日までに見直しや作成をするということだが、本町の場合は、③泊原発の再稼働については、関係市町村の同意権を何らかの形で認めなければ、後志の安心や安全は保てないのでは。



倶知安町に設置されたモニタリングポスト

町長

①地元自治体の同意については、北海道原子力安全対策課へ確認したところ、国や原子力規制委員会では明確な方針が示されていない。

②平成25年4月に町の防

#### 要綱の問題

竹内

本町の「倶知安町自然公園における建築物及び土地の利用に関する要綱」は、地方自治法第14条第2項に定める「普通地方公共団体は、

防災会議を開催し、正式なものとするスケジュールで進めている。③再稼働の同意についても、後志管内各市町村の中で温度差があるので、十分な協議をしていく。

義務を課し、または権利を制限するには法令の特別の定めがある場合を除くほか、条例によらなければならない」という規定に完全に違反する。町長の考えは。

町長

この要綱は、地域住民の理解と協力を得て、地域づくりを進めていくために作ったもので、一方的に制限するためのものではなく、無効ではないと考える。

#### 障がい者の雇用

竹内

4月の障害者雇用促進法の改正により、民間企業の場合の障がい者の法定雇用率が2%へ引き上げられるが、本町の場合、障がい者雇用はどうなっているのか。

町長

地方公共団体においては、現行の2.1%から2.3%に引き上げられるが、本町の状況としては、過去一時的に法定雇用率を下回ったことがあったが、それ以降については、十分な雇用率とは言えないまでも

達成している。新年度においても、法の趣旨にのっとり、少なからず法定雇用率の達成と合わせて障がい者の雇用促進に努力する。

#### 小学校適正配置と 樺山分校

竹内

①小学校の適正配置については、4校の学級編成の状況は、②樺山分校存続問題は、存続派と廃止派それぞれ均衡を持った形でのメンバーによる会合の場を作り、そこで存続についての真摯な論議を紳士・淑女的にしてもらい、結果を教育委員会に報告し、決定することが必要だ。

教育長

①平成24年度現在、倶知安小学校12学級、北陽小学校・東小学校が6学級、西小学校が7学級となっている。②樺山分校については、町民の皆さまの中でもさまざまな意見がある中、議員の言われる手法も一つの方法であると思う。

#### 就学援助

竹内

①本町での就学援助を受けている人数は。②生活保護費が8月から引き下げられるが、就学援助に影響するのか。③就学援助の対象や支給基準は、今回の予算措置でどのように編成されているのか。

教育長

①平成25年2月現在、要保護が小学校で15人、中学校で8人、必要保護は小学校で129人、中学校で63人となっている。②生活保護基準が引き下げられると、就学援助の所得基準も引き下げられることになり、対象から外れる世帯が出てくるのが想定される。③就学援助に関する平成25年度予算については、国からの具体的な基準額も示されていない状況の中で、従前の考え方に基づき、受給者数を推計し予算計上している。



## 磯田 龍一 議員 … 1 件の一般質問

福島町政 2 期目の折り返しにあたり  
重点施策の積極的な取り組みを期待する

町長：施策の取捨選択により予算を取りまとめた



磯田 今日、本町を取り巻く情勢は依然と

して厳しさを増しているが、未来に向かって夢と希望の持てる地域社会の構築を目指して着実な取り組みを展開しなければならぬ。

今般の予算編成が重要な政策予算であることから、広く町民の負託に応えるためにも、重点政策を中心に前向きな取り組みを期待する。

急速な少子高齢化社会を迎え、社会全体が閉塞感をぬぐえず、雇用や産業活動に深刻な影響を及ぼしている。

当面する諸課題に全力で対峙し、地域の活性化と町民福祉の向上、地域経済の振興と縦割り行政を乗り越え、積極的な取り組みを求める。

①第5次総合計画に掲げる自主自立のまちづくりの基盤を構築し、地方制度改革や地方財政改革などに対応できる基礎を作るとあるが見解を求める。

②安心・安全なまちづくりの地域医療、防災、公

共施設の老朽化対策、保健事業の体制整備を図るための予算は。

③本町の経済基盤を担う農業、観光、商工業の振興と活性化をどのような視点で取り進めるのか。

④北海道新幹線開業を見

据えた駅前再開発、街並みと商店街振興策を検討するプロジェクトを設置し、中心市街地に若者やお年寄りが新たに暮らすコンパクトで元気なまちづくりを推進すること。  
見解を求める。

見解を求める。



## 北海道新幹線のイメージ

町長 ①町政運営に對する基本姿勢は、第

の実現に向け自助・共助・公助それに基づく自主・自立のまちづくりを旨とし、みずからの判断と責任において財源を確保し、使い道を決定する財政自治の確立に努め、基礎自治体として住民自

治を実現するための基礎  
を作ることに努める。

②安心して暮らせる福祉環境づくり、安心できる医療体制の整備をはじめ東日本大震災を教訓に防災体制の確立を目指すとともに、公共施設等の耐震など災害に強いまちづくりを進め、防火・防犯・交通安全など、町民の暮らしを安全にする体制を整えるための施策に重点的に取り組む。

③産業の振興は、町民生活の安定と町政を運営するための財政基盤であるため、地域経済活性化と経済基盤の安定化を図る



新幹線まちづくりワークショップ°

北海道新幹線倶知安駅周辺整備構想において、まちづくり地域振興の方向性などを取りまとめた。

平成24年度より町民、学識経験者を交えた新幹線まちづくりワークショップを開催し、さまざまな議論・対話を重ねて、住民主体の整備計画の検討を進めている。

中心市街地の活性化については、急速な少子高齢化、新幹線着工認可といった社会情勢の変化をも見る現在、計画のあり方を改めて検討する必要性を認識している。



## 佐名木幸子 議員 … 3 件の一般質問

きょうりょう

### 橋梁の総点検による防災・減災を

#### 町長：橋梁長寿化修繕計画を策定中

佐名木

災害から国民の命を守る道路・トンネル・橋・下水道・堤防などインフラの総点検、老朽化対策が新たにスタートする。

昨年来から防災関連に使い道を絞った国の防災安全交付金に、5498億円が計上されている。

ここで俱知安町の橋梁について、俱知安町には橋が68力所があるが点検は進んでいるのか。

国の補助金を使って計画の策定をしているのか。

町長

本町が管理する橋梁は68ある。橋の年齢は30歳以下が31と比較的新しい橋梁が多く、昭和45年から昭和59年の間に39の橋が作られた。

修繕計画を策定せずに放置すると20年後には築50年を超える橋梁が40、22年後には昭和45年から架設された39の橋すべてが



寒別橋の補強工事

50年を迎え、修繕のピークを迎えることになる。

長さ15メートル以上の34の橋については、平成21年度に点検、残りの34の橋についても平成23年度には点検を終えている。

点検結果を整理して、現在、68の橋の橋梁長寿化修繕計画を策定中であり、平成33年度までに補修を行う橋を選び、早く修繕しなければならぬ橋の順位付けをする。平成25年から平成27年の3年間で、寒別橋の修繕を予定している。

#### 生活道路の整備を

佐名木

高砂地域の生活道路は延長78メートルで、途中から急勾配な坂道となっていることから、冬期間には普通乗用車では登りきれない状況にある。

この道路については、以前から苦情が出ているが、端的に言うところ緩やかな道路、安全に上り下りできる道路にしてほしい。

町長

町道高砂団地南通3号についての質問だが、当該路線の工事については、地形の状況及び道路敷地の制約の中で考えうる対応をしたが、この坂の事前に2棟の住宅があり、住宅の取り付け部分の高さをできるだけ変えないように整備したものである。

理想とする道路と、そこに居住する人の利便をどう両立するかは難しいが、今後、現場を調査し問題解決に向けて検討する。

#### 通学路の安全対策

佐名木

警察庁によると2011年の通学路による小学生の死傷者数は約2500人になっている。

昨年、文部科学省・国土交通省・警察庁との合同で、各自自治体に通学路の緊急点検を要請しており、その結果、危険箇所を記載した図面を公表した自治体が782市町村となっている。

公表された782市町村の中に俱知安町は載っていないが、調査結果や状況等について伺う。特に冬期間の通学路の点検はしているのか。道路と歩道の境の雪壁、積雪を見て、関係者はどう感じているのか。

教育長

相次いで発生した登校中の児童の事故を受け、各地域の学校・警察・道路管理者・教育委員会などの関係機関が共同して通学路における安全確保のために点検を実施した。

本町では、俱知安小学

校・北陽小学校・東小学校・西小学校から5力所の危険箇所報告があった。

具体的な対策としては、まず西小学校区で岩尾別に抜ける道路、北陽小学校区では、ひまわり団地に抜ける狭い道路など4力所に啓発看板を設置した。

安全対策が必要な全国7万4483力所の中には、本町が報告した5力所も含まれているが、公表については、今後の対応状況を見ながら実施したい。

冬期間における通学路の安全対策については、積雪等により道幅が狭く、見通しが悪くなっている箇所や屋根からの落雪等により危険と思われる箇所について、建設課と協議し対応している。

特に危険箇所が増加する冬期間の交通安全について、児童生徒に対し繰り返し指導を行い、登下校時等における事故防止に努めている。